

日本語部

Japanese Language Ministry

2025 年 9 月 14 日

シリーズタイトル: 聖なる儀式と権利

今週のタイトル: 私ステーキに何がかかっているのか?

コリントの信徒への手紙一 8 章 1 ~ 6 節

レイ・ハームズ・ウィーブ牧師

ある人が、初めて私たちの多文化で多言語な教会に来たと想像してみてください。その人は、単一の民族が一つの言語を話す国から来た人だったとします。その人はきっと、こう尋ねるでしょう。「どうしてこんな教会ができたのですか？」

その人に理解してもらうために、私たちは文脈、つまり歴史や背景を説明しましょう。探険の歴史、1860 年頃から始まった外国人の入植、そして過去 100 年にわたる移民の流れ。そのような歴史の中で、この多文化都市に、私たちの文化を超えた教会が生まれたのです。

礼拝時間

午前 8 時 30 分、10 時、11 時 45 分

詳細は下記ページをご参照ください

<https://willingdon.online.church>

教会からのお知らせ

申込先はこちらより: http://eepurl.com/dC_JaL

第一コリント8章を読むとき、私たちは次のような疑問を持つでしょう。「どんな背景があって、コリントの教会はパウロに偶像に捧げられた食べ物についての手紙を書いたのだろうか？」そして、「それは今の私たちに何を意味するのだろうか？」と。文脈を理解するなら、最初に読んだときよりも、パウロの答えは、今の私たちに深く関係していることが分かるでしょう。

1. 霊的な未熟さは、私たちを大きく傷つける。
2. 「霊的な知識」は、他の人を傷つけてしまうことがある。
3. 解決策：神に知られ、そして本当に神を知ること。

考えてみましょう：

1. あなたが心、思い、力を注いでいるもので、神以上に大切になっているものはありますか？しばらく考えてみましょう。
2. 偶像を取り除き、唯一の真の神への忠誠を新たにする必要がありますか？
3. あなたの「霊的な知識」が、愛を押しつけてしまったことはありませんか？
4. あなたは父なる神と御子イエス・キリストについて何を心から告白しますか？

コリントの信徒への手紙一 8章1～6節

1 偶像に供えられた肉について言えば、「我々は皆、知識を持っている」ということは確かです。ただ、知識は人を高ぶらせるが、愛は造り上げる。 2 自分は何か知っていると思う人がいたら、その人は、知らねばならぬことをまだ知らないのです。 3 しかし、神を愛する人がいれば、その人は神に知られているのです。 4 そこで、偶像に供えられた肉を食べることについてですが、世の中に偶像の神ではなく、また、唯一の神以外にいかなる神もないことを、わたしたちは知っています。 5 現に多くの神々、多くの主がいると思われているように、たとえ天や地に神々と呼ばれるものがいても、 6 わたしたちにとっては、唯一の神、父である神がおられ、万物はこの神から出、わたしたちはこの神へ帰って行くのです。また、唯一の主、イエス・キリストがおられ、万物はこの主によって存在し、わたしたちもこの主によって存在しているのです。

ウィリンドン教会 同時通訳クイックスタート案内

事前に行う事及び持参するもの：

- ・自宅で手順1を実行します。
- ・イヤホンをお持ちください。

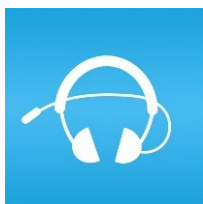
(イヤホンは鍵かクレジットカードを通訳デスクに預けて借りることもできます)

要注意：周りの人たちに配慮しましょう。イヤホンをしないで携帯電話から聞くことは正しいことではありません。

注意：通訳ネットワークを使用している時にはインターネットに接続できません。

- 1、アップル App Store または Google Play ストアから「**ListenWiFi**」をダウンロードします。

または、このQRコードをスキャンしてダウンロードしてください。



- 2、「ウィリンドン通訳」Wi-Fi ネットワークを選択してください。ネットワークに接続するためのパスワードはありません。

- 3、アプリを開き、言語を選択します。

